

June 11, 2019

【前日の為替概況】ドル円、3日ぶり反発 トランプ米大統領が対キシコ関税発動を無期限延期

10日のニューヨーク外国為替市場でドル円は3営業日ぶりに反発。終値は108.45円と前営業日NY終値(108.19円)と比べて26銭程度のドル高水準だった。前週末にトランプ米大統領が不法移民問題についてメキシコと合意に達し、メキシコに対する関税発動を無期限で延期すると述べたことを背景に、両国の貿易摩擦に対する警戒感が後退。アジアや欧州の株式相場が上昇したことを受けて円売り・ドル買いが先行し、日本時間夕刻に一時108.72円と日通し高値を付けた影響が残った。

ただ、ニューヨーク市場に限ればじり安の展開だった。トランプ米大統領が「もし習・中国国家主席がG20サミットに参加しなければ、中国への追加関税は直ちに発動されるだろう」と述べたことなどが相場の重しとなったほか、「ニューヨーク市マンハッタンの高層ビルの屋上にヘリコプターが衝突」とのヘッドラインに円買い・ドル売りで反応し一時108.32円と日通し安値を付けた。

もっとも、米国株相場や米長期金利の上昇に伴う円売り・ドル買いも出たため下落のスピードは緩やかだった。また、米メディアはヘリコプターに搭乗していた1人が死亡したと報道。事故の原因は現時点で不明だが、ニューヨーク州のクオモ知事は「テロではない」との見方を示した。

ユーロドルは3日ぶりに反落したものの、下値は堅かった。終値は1.1312ドルと前営業日NY終値(1.1334ドル)と比べて0.0022ドル程度のユーロ安水準。欧州市場序盤に一時1.1290ドルと日通し安値を付けたものの、売り一巡後は徐々に下値を切り上げる展開に。ユーロポンドやユーロ豪ドルなどユーロクロスの上昇につれた買いが入り、3時過ぎに一時1.1325ドル付近まで値を上げた。

なお、ユーロポンドは一時0.8930ポンド、ユーロ豪ドルは1.6265豪ドル、ユーロカナダドルは1.5028カナダドルまで上昇した。

ユーロ円は小幅ながら3日続伸。終値は122.67円と前営業日NY終値(122.61円)と比べて6銭程度のユーロ高水準だった。週明け早朝取引で一時本日高値となる122.99円まで上昇した影響が残ったが、そのあとはじり安の展開に。23時過ぎに一時122.63円と日通し安値を付けている。

南アフリカランド円は堅調。24時過ぎに一時7.35円と日通し高値を付けた。同国経済に対する先行き不透明感は根強いものの、米国を中心とした貿易摩擦を巡る過度な警戒感が後退すると、主要な株式市場と同様に南ア株式市場も上昇。リスク回避の巻き戻しに伴う円売り・ランド買いが優勢となった。

【本日の東京為替見通し】ドル円 買い材料多いものの上値への反応鈍い

本日の東京市場のドル円は、108円台でのレンジ取引か。昨日は週末のメキシコ関税回避のニュース後だったことで、株式市場の上昇やリスクオン相場を期待していた市場参加者が多かった。実際に株式市場は上がり、債券は売られ、若干ながらリスクオンに傾いたものの、小幅な動きに終始した。

ドル円に関して言えば、株価上昇、米金利上昇にもかかわらず上げ幅がわずかだったことを考えると、ドル円の地合いはまだ弱いといえよう。

メキシコの問題も昨日ポンペオ米務長官が「移民対策について十分な結果を得られなければ、対メキシコ関税が現実味を帯びる」と発言しているが、現実的な成果が出るかは全く分からない。報道で「自作自演」と非難されていることで、トランプ米大統領にとっても明確な成果が見られない場合は、厳しい姿勢をとらざるをえず、関税を避けることができない可能性がある。

また、メキシコ問題以外でも国際情勢のリスクは高まる一方なため、当面はドル円の上値を抑えることになるだろう。

一方、先週ドル円は3、4、5、7日に107.80円台まで下がったものの、107.80円を割り込まなかったことを考えると、余程サプライズがない限りこの水準を割り込むのも難しそうだ。また、本日は本邦からは5月マネーストックM2以外は主だった経済指標の発表も無いことで、値幅を広げて動くのは難しそうだ。

ドル円以外では、引き続きポンドが欧州通貨を引っ張ることになりそうだ。本日は東京時間夕刻に英雇用統計が発表されるほか、複数の英中銀金融政策委員会(MPC)委員の講演や議会証言が行われる。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

○08:50 ◇ 5月マネースtock M2 (予想: 前年比 2.5%)

<海外>

○10:30 ◇ 5月豪 NAB 企業景況感指数

○15:00 ◎ 5月ノルウェー消費者物価指数 (CPI、予想: 前月比 0.1%/前年比 2.9%)

○15:00 ◎ ノボトニー・オーストリア中銀総裁、講演

○17:30 ◎ 5月英雇用統計 (予想: 失業保険申請件数推移 2万2900件/失業率なし)

○17:30 ◎ 2-4月英失業率 (ILO方式、予想: 3.8%)

○18:00 ◎ テンレイロ英中銀金融政策委員会 (MPC) 委員、講演

○18:00 ◎ サンダース MPC 委員、ブロードベント・イングランド銀行 (BOE) 副総裁、議会証言

○21:30 ◎ 5月米卸売物価指数 (PPI、予想: 前月比 0.1%/前年比 2.0%)

◎ 食品とエネルギーを除くコア指数 (予想: 前月比 0.2%/前年比 2.3%)

○12日 02:00 ◎ 米財務省、3年債入札

12日

<国内>

○08:50 ◇ 5月企業物価指数

○08:50 ◎ 4月機械受注

<海外>

○09:30 ◇ 6月豪ウエストパック消費者信頼感指数

○10:30 ◎ 5月中国 CPI

○10:30 ◎ 5月中国生産者物価指数 (PPI)

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

10 日 20:00 トランプ米大統領

「もしメキシコが合意事項を破った場合、制裁関税は復活する」

10 日 21:44

「中国との貿易交渉は順調にいくだろう。なぜなら、中国はそうすべきだからだ」

「もし習・中国国家主席が G20 サミットに参加しなければ、中国への追加関税は直ちに発動されるだろう」

「FRB の行動は破壊的だ」

11 日 05:47

「メキシコと合意した内容についてはまもなく発表されるだろう」

10 日 21:28 デギンドス ECB 副総裁

「世界的な景気減速がユーロ圏の重石となっている」

「欧州中央銀行 (ECB) は、世界の不確実性に対応できる準備している」

「インフレ期待は停滞している」

「現状の政策によりインフレ目標を達成することを確信している」

10 日 21:38 エブラルド・メキシコ外相

「メキシコ政府は、メキシコに到着した移民に身分証明書の提示を求め、身分証明書の無い移民は受け入れない」

11 日 04:40

「もし移民流入が減少しなければ、'安全な第三国'指定について米国と協議を始めるだろう」

11 日 03:08 サンダース英中銀金融政策委員会 (MPC) 委員

「英国の中立金利は 2% 程度」

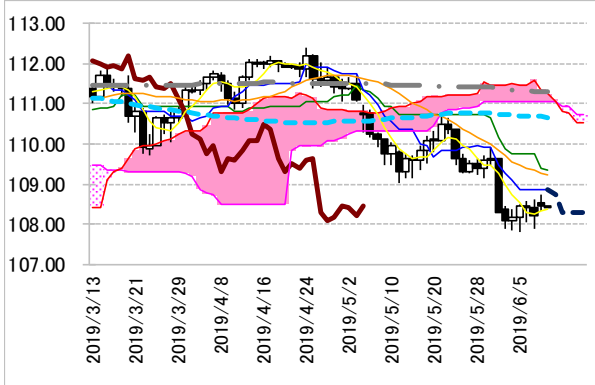
11 日 04:45 ポンペオ米国务長官

「メキシコは米と合意した不法移民対策を完全に実施するはずだ」

「移民対策について十分な結果を得られなければ、対メキシコ関税が現実味を帯びる」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

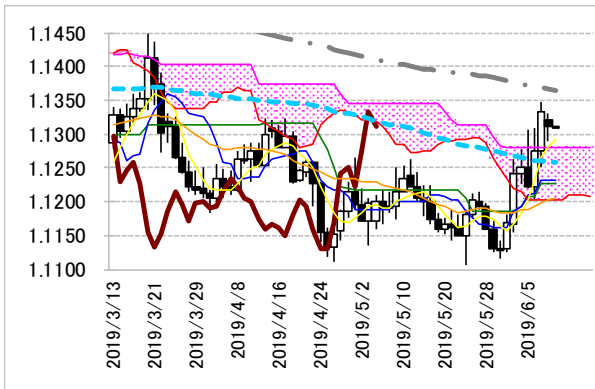


<ドル円＝転換線の低下を待ち、同線を上抜くパターンか>

上影小陰線引け。一時 108.72 円と、5 月 31 日以来の水準に上昇して推移した。

一目均衡表・転換線 108.88 円を前に、やや伸び悩み気味。明日から低下し始める見込みの同線を一気に上抜く勢いを感じにくい。108 円台での底堅さを維持しつつ、転換線の低下を待ち、日柄を見方につける格好で同線をこなす展開が想定される。

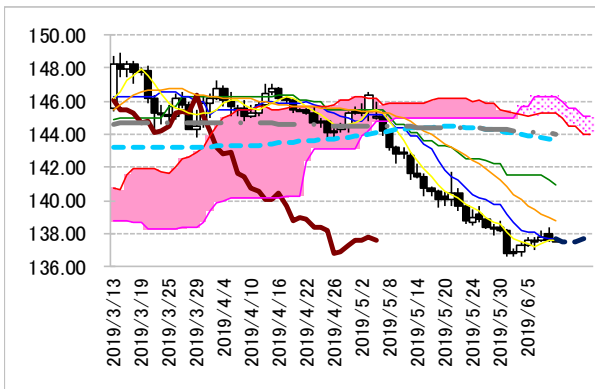
レジスタンス 2	109.22(21 日移動平均線)
レジスタンス 1	108.88(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	108.45
サポート 1	107.88(6/7 安値)



<ユーロドル＝雲付近の底堅さ維持し、再び上値トライへ>

下影小陰線引け。上値に低下中の 200 日移動平均線が控えるなか、1.13 ドル台では上値が重かった。しかし、1.13 ドルを割り込み、一目均衡表・雲の上限 1.1280 ドルへ近づいたところでは底堅さを示した。大台を回復して NY を引けている。雲の中へ入って、1.1257 ドル前後で低下中の 90 日線を追う展開も想定できる。だが、一目・転換線 1.1232 ドルや、同・基準線 1.1228 ドルが支えとなり、底割れは回避できそう。雲付近の底堅さを維持し、再び上値へトライするとみる。

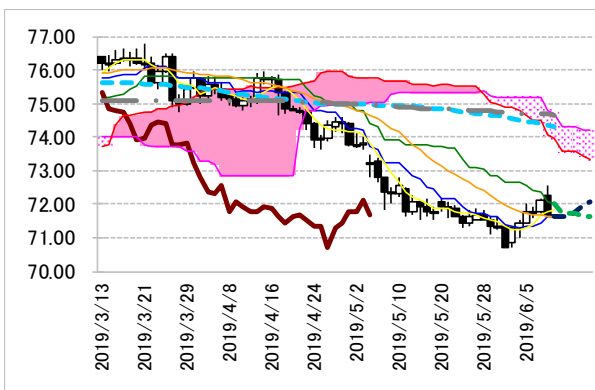
レジスタンス 1	1.1365(200 日移動平均線)
前日終値	1.1312
サポート 1	1.1251(6/7 安値)



<ポンド円＝転換線の底打ちとともに底堅さ強めると予想>

上影小陰線引け。5 月 30 日以来の水準 138.36 円まで緩やかに戻りを試した。一目均衡表・転換線 137.65 円付近の攻防となっている。低下傾向の同線を上回ったところでやや戻りが鈍い。だが、同線は明日にも 137.46 円で底打ちする見込み。転換線付近の下支えがより明確となり、相場は底堅さを強めるとみる。

レジスタンス 1	138.36(6/10 高値)
前日終値	137.57
サポート 1	137.00(6/6 安値)



<NZドル円＝転換線を支えとした基準線の攻略を期待>

上影陰線引け。72 円付近で低下中の一目均衡表・基準線を上回った水準で伸び悩んだ。抵抗となった基準線はまだ低下を続ける見込み。戻りを鈍くしそうだが、一目・転換線 71.61 円付近では底堅さを維持している。転換線はいったん横ばいとなるが、週後半に上昇を再開する見込み。同線を支えとした基準線の攻略を期待する。

レジスタンス 1	72.05(日足一目均衡表・基準線)
前日終値	71.67
サポート 1	71.05(ピボット・サポート 2)

